

科目名 診療画像技術学実習Ⅰ

1単位 45時間 夜間部2年 前・後期 担当講師 松尾 健一、内田 盛康、坪子 敏和。

教育目標

人体ファントムを用いたX線撮影を自ら体験し、撮影の基礎理論と画像解剖を統合し理解する。
また、臨床実習で求められる患者接遇、骨解剖とX線検査の基礎技術を習得する。

使用教材

診療画像技術学実習テキスト（プリント配布）

図解診療放射線技術実践ガイド 高橋正治ほか 文光堂

一回あたりの学生数：1クラス 班の構成：一班あたり約6名

出欠確認方法 点呼 試験 無 評価方法 実習レポート等

授業概要（隔週で実施）

（前期）

- 1回 ガイダンス / X線装置の取扱い方、暗室操作
- 2回 X線基礎実習1：X線の性質と撮影条件
- 3回 X線基礎実習2：手骨撮影，（X線フィルム／増感紙）の特性試験
- 4回 上肢撮影（足関節、肩関節撮影），X線グリッドの構造と特性
- 5回 下肢撮影（膝関節、足関節骨），CRと画像処理
- 6回 胸部X線撮影（CRと回診用ポータブル撮影）
- 7回 頭部骨撮影（頭蓋骨正面、側面位/トルコ鞍拡大） / X線CTの基礎1

（後期）

- 8回 頭蓋骨撮影（Towne法, 頭蓋底） / X線CTの基礎2
- 9回 副鼻腔・視神経管撮影（Waters法, Rhese法） / X線CTの基礎3
- 10回 聴器撮影（Schuller法, Stenvers法）
- 11回 頸椎撮影、腰椎撮影
- 12回 骨盤（股関節）撮影 / 腹部透視/撮影（FPD）と症例検討

【実務経験】

診療放射線技師として市立総合病院に12年間勤務。医療機関での実務経験をもとに撮影技術について話します。 (松尾)

診療放射線技師としてクリニックに27年間勤務。医療機関での実務経験をもとに、撮影技術について話します。 (内田)

診療放射線技師として総合病院に27年間勤務。医療機関での実務経験をもとに、撮影技術について話します。 (坪子)